

市数研だより

令和4年9月12日発行 NO. 3 熊本市中学校数学教育研究会

9月の定例会が9月1日（木）に白川中学校で行われました。Zoomを使って実施し、10月にある熊本市授業研に向けた授業づくりがありました。

1. あいさつ 市数研会長（花陵中学校 田口校長先生）

私の勤める花陵中学校では授業づくりの学校訪問があり、教育センターの武田指導主事から職員向けにお話をいただきました。その話の中で、「子どもが学び取る授業改善のためには3つのポイントがある。それは、めあて・振り返り・対話である。めあては子どもがなぜと思えるように、子どもとともに設定することが大切である。振り返りは授業の最後だけではなく、あらゆる場面で考えられる。対話は、自分の考えを伝えるものである。対話せずにはいられなくなるような仕掛けが必要である。」というご指導をいただきました。本日の授業検討でも参考になると思います。先生方、どうぞよろしくお願いいたします。



2. 熊本市授業研の授業者・責任者・司会者

10月4日（火）の熊本市授業研は5つの会場で実施されます。なお、授業研はオンラインでの配信になります。それぞれの会場の授業者・責任者・司会者の先生方をご紹介します。

会場	単元	授業者	責任者	司会者
京陵中	文字式の利用	高木 裕貴	長野 誠子	井深 友美
竜南中	関数 $y = ax^2$	田代 颯斗	林田 和樹	林田 和樹
江南中	一次関数の利用	松本 信一	犬童 隆雄	森 建之
湖東中	平面図形	松村 怜枝	高山 秀一	宮本 晃利
二岡中	変化と対応	浦田 憲一	近松 幸	河野 芳宏

敬称略

京陵中会場



竜南中会場



江南中会場



湖東中会場



二岡中会場



3. 助言者の教頭先生より

京陵中担当 桑野 淳二教頭先生（託麻中学校）

夏休み中に指導案検討をしており、修正した指導案を見させていただきました。今日の定例会では、子どもたちの深い学びの姿を明確に持っておいてほしいことと、子どもたちをそういう姿にさせるために、先生がどのように関わっていくのが大事だと助言をしました。

湖東中担当 境 理華教頭先生（東町中学校）

図形の移動の授業をされます。授業に対する思いがしっかりとあり、そのためにどうやって授業を進めていくとよいかという話をしました。今日の定例会の話をふまえて、授業者の松村先生が引き続き授業を改善していこうという姿勢が印象的でした。

二岡中担当 森枝 裕紀教頭先生（錦ヶ丘中学校）

変化と対応の導入で、正方形の画用紙の四隅を切り取って箱を作るときの変化の様子を調べるという授業をされます。導入ですので、子どもたちが興味をもつかどうかに関数単元のその後の学習にも影響を与えるという話になりました。私も勉強しながら授業と一緒につくっていきたいと思います。

竜南中担当の助言者は坂本英明教頭先生（白川中学校）、江南中担当の助言者は佐々木真教頭先生（力合中学校）です。当日までどうぞよろしくお願いいたします。

4. まとめ

市数研副会長（錦ヶ丘中学校 出崎校長先生）

夏休みにNHKで「笑わない数学」という番組を観ました。素数のことなど数学の難しいネタを視覚的にもわかりやすく、さらにお笑い芸人の方の巧みな話術もありながら説明しており、観ていてとても引き込まれる番組でした。

数学の題材を子どもたちにどういうふうに伝えていくのかという点で、授業づくりと相通じるものがあるなと感じました。難しい題材でも先生方が工夫をして、子どもたちに受け止めやすくすること、そして先生が演技者として表情豊かに子どもたちを引き込んでいくことが大事なのではないかと思います。

熊本市授業研は今年もオンラインでの配信となり、お手数をおかけしますが、どうぞよろしくお願いいたします。



5. お知らせ

次回の定例会は、**10月13日(木)19時～ 錦ヶ丘中学校**です。

7月までの定例会のように、九州大会の授業づくりが中心になります。

実施方法については、また改めてご連絡いたします。

ご質問やご感想がありましたら、下記のアドレスまでお願いします。

shiiba.masahiro@kumamoto-kmm.ed.jp

- ・定例会へ多数の先生方のご参加をお願いします！！
- ・各学校から**1名以上の参加**をぜひともお願いします！！
- ・特に若手の先生方、遠慮せずに参加して、市数研の底上げを図っていきましょう。主任の先生方、呼びかけをよろしくお願いします。

文責 城南中学校 椎葉 将大